

藤本 宗明
執行役員
医薬事業部長

私たちは、事業Purposeである「科学、技術、人財を大切にし、患者様の健康に貢献します。」を掲げ、研究開発に取り組んでいます。直近では、アトピー性皮膚炎治療薬「コレクチム®軟膏0.5%、0.25%」、腎性貧血治療薬「エナロイ®錠2mg、4mg」の製造販売承認を取得し、これまでの研究開発が着実に実を結んでいます。引き続き、持続的な利益成長へ貢献を目指していきます。

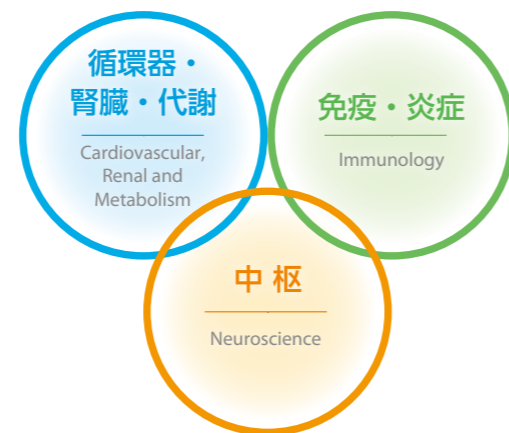
Purpose 科学、技術、人財を大切にし、患者様の健康に貢献します。

医薬事業の基本戦略

医薬事業は以下の基本戦略を通じ、JTグループへの安定的な利益貢献を目指します。

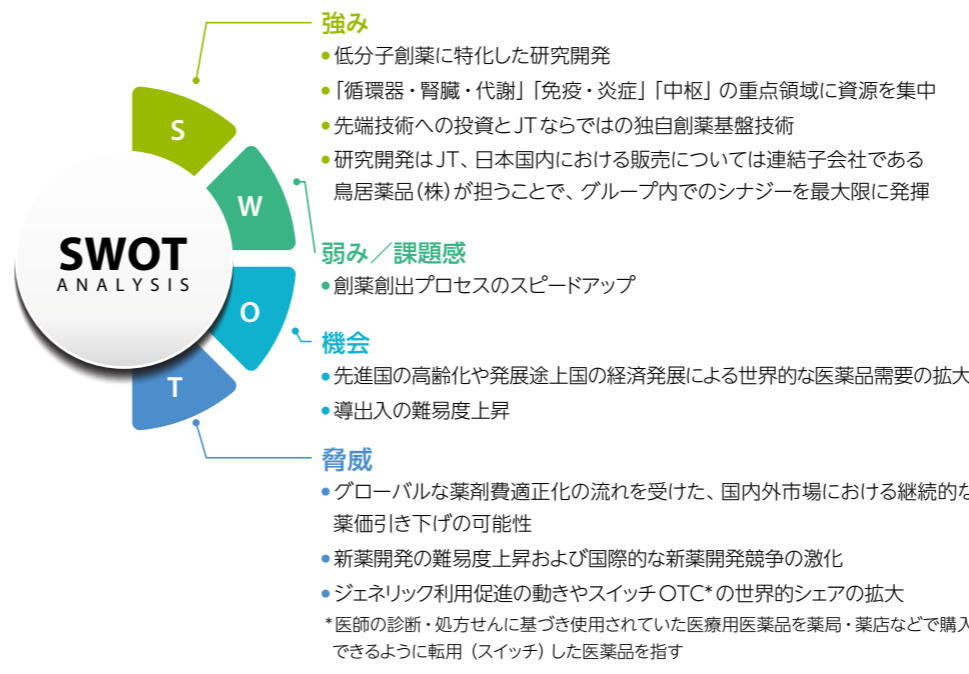
- 創薬力向上のあくなき追求
- 次世代戦略品の研究開発推進と最適タイミングでの導出
- 各製品の価値最大化

また、医薬事業では主に「循環器・腎臓・代謝」「免疫・炎症」「中枢」の領域で研究開発を行っています。

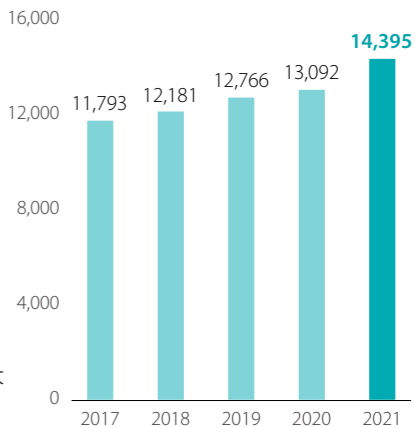


事業環境

医薬事業のSWOT分析



世界の医薬品市場* (億米ドル)



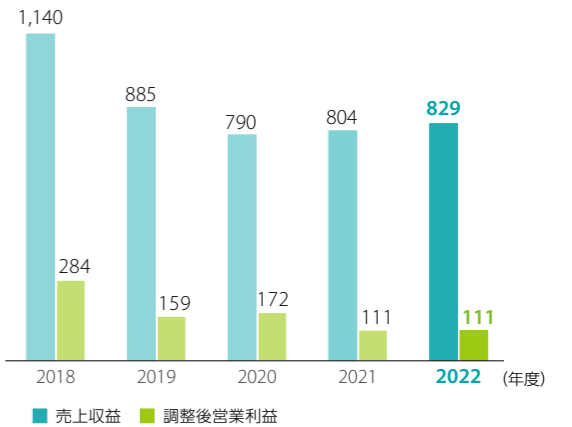
* Copyright © 2023 IQVIA. Calculated based on IQVIA World Review (Data Period, Year 2017-2021) Reprinted with permission

過去5年間の実績推移

売上収益は、当社の連結子会社である鳥居薬品の増収が海外ロイヤリティ収入の減少を上回り、2021年度比3.1%の増収となりました。鳥居薬品における増収は、同社におけるアレルギー領域・皮膚領域が大きく伸ばしたことが起因しています。

調整後営業利益は、売上収益の増収を研究開発費等の増加が相殺し、2021年度比0.5%の増益となりました。

売上収益・調整後営業利益 (億円)



医薬事業

事業活動を通じたサステナビリティへの取り組み

ケーススタディ：病気から人々を救う「オリジナル新薬の創出」

医薬事業のサステナビリティ戦略では、「お客様の期待を上回る製品・サービスの提供」を注力分野の一つと定め、世界に通用する画期的なオリジナル新薬を創出し、一日も早く患者様にお届けすることを目指しています。「循環器・腎臓・代謝」「免疫・炎症」「中枢」といった重点領域における新薬の研究開発に継続的に投資し、また、さらなる研究開発にも引き続き取り組んでおり、2022年においては、研究開発として298億円を投じました。なお、2023年2月14日時点の臨床開発状況は[こちら](#)で確認できます。

その結果、2020年には腎性貧血治療薬「エナロイ[®]錠2mg、4mg」（一般名：エナロデュスタット）およびアトピー性皮膚炎治療薬「コレクチム[®]軟膏0.5%」（一般名：

デルゴシチニブ）を、2021年には小児患者を対象とした、「コレクチム[®]軟膏0.25%」を日本国内にて販売を開始しました。

アトピー性皮膚炎では成人の患者様のみならず小児の患者様も多いため、コレクチム[®]軟膏の開発においては当初より小児開発を念頭に置いていました。さらに2022年には乳幼児（2歳未満）の患者様を対象とした日本国内における臨床試験をすべて終了し、2023年1月には乳幼児への適応拡大に対応した添付文書改訂を行いました。今後も病気によって悩みを抱えているすべての年齢の患者様とそのご家族の生活を豊かにするため、引き続き、安全にかつ安心してお使いいただけるオリジナル新薬創出に向け、研究開発に取り組んでまいります。



医薬事業におけるサステナビリティ戦略・注力分野

医薬事業では、2019年にサステナビリティ戦略を策定し、3つの注力分野と5つの具体的な取り組み目標を定め、毎年、進捗について報告しています。詳しくは、「KPIの進捗」をご覧ください。

KPIの進捗



お客様の期待を上回る製品・サービスの提供

目指す姿

私たちは、世界に通用する画期的なオリジナル新薬を創出し、一日も早く患者様にお届けすることを目指します。人の生命に直結した事業を行う医薬事業は、関連法規制や業界基準を厳しく遵守するとどまらず、高い倫理観と強い責任感に基づいて、臨床開発や販売情報提供活動、また動物実験や化学物質管理に取り組んでいます。



人財への投資

目指す姿

私たちは、FIC（ファースト・イン・クラス）創薬に貢献し得る人財の育成に努めます。医薬事業では、適切な事業活動を担保するための仕組みを構築して厳格に運用しています。従業員に医薬品の安全性や品質保証の重要性を理解してもらうため、JT医薬事業部に所属する全従

業員を対象に毎年eラーニングを実施し、受講率100%であることを確認しています。また、倫理観の醸成、患者様を救うという使命感をもった人財を継続的に育成するため、医療現場との交流機会を設け、活動や社内イベントの開催を通じた啓発活動を行っています。

製品の安全性と責任

目指す姿

私たちは、患者様に安全な薬をお届けするために、関連法規や業界基準を遵守して事業活動を行います。医薬品の承認書と製造実態の整合性を確認するための年次点検に関するガイドラインを策定しています。2017年より本ガイドラインに準拠した年次点検を開始し、2018年以降、全製造委託工場において継続的に年次点検を運用しています。また、厚生労働省の「医療用医薬品の

販売情報提供活動に関するガイドライン」に則して社内基準を策定しています。鳥居薬品のMR（医薬情報担当者）は医療関係者に対する販売情報提供活動を担っています。本ガイドラインを遵守するため、MR全員に毎月1回eラーニングによる研修受講を必須としており、全員が受講しています。

▶ 詳細は [JTウェブサイト](#)をご覧ください。